

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号 2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
(Tel: 03-6415-4031)

Glufosfamide、米国第Ⅲ相臨床試験に関する進捗状況のお知らせ ～シリーズB Private Equity Financingの完了について～

この度、Eleison Pharmaceuticals (エリソン社: 米国ニュージャージー州) より、当社と共同開発中である抗がん剤 Glufosfamide (グルフォスファミド: 難治性疾患「すい臓がん」適応候補剤) について、第Ⅲ相臨床試験に係る資金の調達が完了したとの公表がありましたので、お知らせいたします。

今般のエリソン社による資金調達には、CS Capital Partners 社のほか既存の投資家が参加いたしました。今般の資金調達によってエリソン社は、現在進めているグルフォスファミドを含めた新薬臨床開発試験 (すい臓がん、骨肉腫) を、弊社を含めた共同開発パートナーとともに進めるのに十分な資金を確保することができました。とりわけ、グルフォスファミドの第Ⅲ相臨床試験については、本年後半より開始し、これを完了する資金を確保することができたとしております。

CS Capital Partners 社及び既存の投資家は、これら新薬臨床開発試験成功に強い確信を示しており、その一環として CS Capital Partners 社よりエリソン社に取締役 1 名が加わる予定となっております。

当社グループは、共同開発パートナーのエリソン社との連携を強め、米国におけるグルフォスファミドの開発経過、EU圏での動きを注視しつつ、アジア地域における開発又はライセンス活動を進めているところであります。

なお、本件が当社平成 24 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微であります。

《グルフォスファミド》

がん細胞に吸収されやすいその特異性と副作用を抑える仕組みをもつ第 3 世代アルキル化剤として、その開発に大きな期待が寄せられています。既に米国において 450 人以上の患者に対して行われた治験の結果、複数のがんの種類においてその有効性が認められると評価されています。

《すい臓がん》

すい臓がんは、米国ではガンによる死因の第 4 位となっており、毎年約 40,000 人のすい臓がん患者が報告されています。しかしながら未だすい臓がんの有効な薬剤は限定的であり、複数の抗がん剤の中からでの選択の余地はなく、開発の必要が強く求められています。すい臓がんは、生存率が非常に低く、難治性疾患の一つにあげられています。

以 上